

令和元年度最高裁判所総合評価審査委員会（第1回） 議事概要

開催日及び場所	令和元年5月31日（金）最高裁判所中会議室
委員	<p>委員長 中城康彦（明海大学不動産学部教授） 委員 遠藤和義（工学院大学建築学部教授） 伊室亜希子（明治学院大学法学部教授） 馬見田政公（経理局営繕課首席技官） 藤田耕一郎（同 次席技官）</p>
委員からの意見・ 質問及びそれに対する回答等	別添のとおり

(別添)

1 総合評価落札方式（標準型）松江地家裁浜田支部庁舎新営実施設計業務の評価結果について
（総合評価落札方式による実施設計業務で、入札説明書交付時に図面を提示しなかった事案）

- (1) 評価結果について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

本件の実施設計業務では、入札説明書の交付時に、与条件として基本設計図の図面を提示しなかったのはなぜか。裁判所の同様の事案ではどういう取り扱いか。

【事務局】

通常、平面図等を交付している。

【委員】

基本設計図と異なる提案はどのように評価したのか。

【事務局】

提示した与条件に合致しているかどうかを基準に評価した。

【委員】

基本設計図を提示せずに評価しているにもかかわらず、基本設計と合致しないものを評価しなかったり、基本設計と合致しないものを評価したことになっているのではないか。さらに、配置図も提示していないにもかかわらず、その内容を前提に評価しているが、これらは総合評価の趣旨に反するのではないか。今回の入札手続きを維持するかどうか、再考されたい。

【事務局】

検討する。

（本件手続は取りやめ、再度公告を行うこととした。）

2 技術提案評価型S型（WTO）東京高地裁中目黒分室（仮称）庁舎新営建築工事の評価結果について

- (1) 評価結果について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

コンクリートの精度向上に関する技術提案について、打継ぎ方法の工夫を評価しているが、構造的な検討はしたか。

【事務局】

技術基準や仕様書等と照らし合わせ、問題ないことを確認している。

【委員】

了解した。

3 技術提案評価型S型（WTO）東京高地裁中目黒分室（仮称）庁舎新営電気設備工事の評価結果について

- (1) 評価結果について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

提案書の記載方法について、提案者により違いがあるが、評価基準はどのように判断したのか。

【事務局】

記載内容から、具体的な提案内容がわかり、期待される効果が明確で、効果があると判断される場合は評価した。

【委員】

将来の保守性に寄与する提案は、建物の出来形ではなく、将来確実に使用しなければあまり意味がなく、受注者に無駄な提案をさせていることにならないか。

【事務局】

完成図書に反映させることから、将来の改修時の利用が見込めるものと考えた。

【委員】

各者からの提案が多いものは標準的な提案、という評価にならないか。

【事務局】

現段階ではまだ一般的とまでは言えないことから、効果が期待できる提案と判断した。

【委員】

了解した。

4 技術提案評価型S型（WTO）東京高地裁中目黒分室（仮称）庁舎新営機械設備工事の評価結果について

- (1) 評価結果について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

資材の保管場所に関する提案を不採用としているが、施工条件として具体的な資材の保管場所は参加者に提示されているのか。

【事務局】

新営工事の場合、一現場で複数者が施工するため、具体的な資材の保管場所は業者間の協議によることから、施工条件として資材の保管場所は提示していない。

【委員】

不採用の理由については、参加者が理解できるような表現とされたい。

【事務局】

了解した。